

Version 7.2

搬入病院

病院 ID

患者情報

性別 男 女

年齢 歳

来院方法 救急車 ドクターヘリ 独歩 転院 その他

発生状況

日付 201 年 月 日

天気 晴れ 曇り 雨 雪

発生場所 都道府県 /区市町村

屋外 屋内

具体的な場所

・具体的な発生日時を指摘できるか？

X X頃と病歴上、推測または指摘可能 X X以降と推測される 不可能（不明）その他・

現場での 現場での Vital

BP /

HR 整 不整

RR

SpO2 Room Air 酸素投与下 挿管下

酸素量 L FiO2 %

現場 体温 °C 腋窩温 鼓膜温 前額温 その他

現場でのシバリングの有無 あり なし

現場 JCS 0 1 2 3 10 20 30 100 200 300

発生時間 （X X以降と推測される場合はその時間を入力）

現着時間

病着時間

搬送中の心電図変化 あり→内容（ ）なし

プレホスピタルでの処置 ブランケット保温 加温輸液 その他

患者既往歴/生活歴 生活歴

既往歴 精神/循環器/脳血管/内分泌

薬物中毒自殺企図アルコール多飲うつ病統合失調症 認知症その他

心筋梗塞狭心症心不全不整脈高血圧その他

脳血管障害てんかんパーキンソニズム片麻痺その他  
臓器疾患のない糖尿病 臓器疾患のある糖尿病低血糖発作低栄養甲状腺疾患  
慢性肺疾患膠原病潰瘍性疾患  
軽度の肝疾患中等度～重度の肝疾患中等度～重度の腎疾患  
がん（転移なし）白血病リンパ腫転移性固形癌AIDS  
末梢動脈疾患

その他

その他

内服薬

糖尿病薬 抗血小板薬 抗凝固薬

生活様式 独居 独居ではない決まった自宅が無い 不明

生活保護かYes No

ADL 完全自立 時に外出室内のみ 要介助 要介助 ほぼ全介助

来院時所見

CPA? Yes No

CPA=胸骨圧迫を含む蘇生行為が必要な場合としてください。

Yes の場合

Asy PEA VF

アドレナリン投与量 mg

Low flow time：心停止から ROSC（あるいは PCPS 導入）までの時間 分

ROSC が得られなかった場合

死亡確認時の体温 蘇生を施行した時間

No の場合

Vital

BP /

HR 整 不整

RR

SpO2Room Air 酸素投与下 挿管下

酸素量 L FiO2 %

表面体温 °C 腋窩温鼓膜温 前額温その他

深部体温 °C 直腸温膀胱温食道温その他

来院時 JCS なし 1 2 3 10 20 30 100 200 300

GCS E 4 3 2 1 V 5 4 3 2 1 M 6 5 4 3 2 1

来院時検査所見

pH PaCO2 PaO2 HCO3<sup>-</sup> BE Lactate (mmol/L または mg/dl)

WBC Hb Ht PLt BUN Cre Bil FDP PT-INR AT III

Glu Amy AST ALT CRPCK PCT Na K Cl Ca

ECG ○Within Normal Limit ○AV block ○VT ○その他の異常所見

原因について

寒冷環境に暴露されたための低体温か？○Yes ○No

○疾病（下記から選択）○溺水○雪崩 ○遭難（溺水・雪崩を除く）○アルコール酩酊

○外傷 ○薬物中毒 ○不明

疾病（複数回答可、主因に◎）

脳血管障害虚血性心疾患 感染症 低栄養

てんかん不整脈糖尿病腎疾患低血糖心不全 糖尿病以外の内分泌疾患

消化器疾患 具体的な病名

原因についてコメントがあればお願いします。

治療法および転帰

入院の有無 ○外来帰宅 ○入院（一般病棟） ○入院（ICU）

ICU 入院日数 日

総入院日数 日

死亡退院（入院 日目）

人工呼吸器装着日数 日

治療法

復温方法（複数回答可）

加温輸液

毛布で保温

腋窩・鼠径部

電気毛布で保温

入浴で復温

温風式（ブランケットタイプ）

温水式（スーツタイプ・四肢体幹に巻き付ける）

熱伝導式ジェルパッド（四肢体幹に巻き付けるタイプ）

温水（胃洗浄）

温水（胸腔・腹腔を灌流）

血管内留置カテーテル

持続的血液濾過透析

ECMO（VA）・PCPS

ECMO（VV）

その他

合併症

治療中に生じた重篤な合併症（心停止あるいは致死性不整脈）

無し

有り VFVT PEA Asystole 高度徐脈

何°Cで

何をしている最中

挿管 胃管挿入 CV 挿入移動 画像検査その他

その他の合併症

肺炎 膀胱炎 電解質異常 DIC その他

復温以外の治療 復温以外の治療 復温以外の治療

挿管 あり無し

昇圧剤投与 あり無し

抗 DIC 療法

AT III TMヘパリンメシル酸ガベキサートメシル酸ナファモスタットその他

初期目標体温●度、到達時間○分初

初療からの到達時間

30°Cまで 分

34°Cまで 分

一期的に復温する場合は ここまで構いません。

二期的に復温する場合は こまで構いません。

加温から保温に切り替えた時の体温▲度、初療からの経過時間△分

退院時転帰

生存退院 死亡

退院時の CPC 【The Glasgow Pittsburgh Cerebral Performance 脳機能カテゴリー】

以下よりの選択

●CPC 1.機能良好

意識は清明、普通の生活ができ、労働が可能である。障害があっても軽度の構音障害、脳神経障害、不全麻痺など軽い神経障害あるいは精神障害まで

●CPC 2.中等度障害

意識あり。保護された状況でパートタイムの仕事がき、介助なしに着替え、旅行、炊事などの日常生活ができる。片麻痺、けいれん、失調、構音障害、嚥下障害、記銘力障害、精

神障害など。

●CPC 3.高度障害

意識あり。脳の障害により、日常生活介助を必要とする。少なくとも認識力は低下している。高度な記憶力障害や痴呆。"Locked-in"症候群のように眼でのみ意思表示できるなど。

●CPC 4.昏睡、植物状態

意識レベルは低下。認識力欠如。周囲との会話や精神的交流も欠如。

●CPC 5.死亡、もしくは脳死

30 日後転帰

○生存 ○死亡

30 日後の CPC CPC1 CPC2 CPC3 CPC4CPC5

90 日後転帰

○生存 ○死亡

90 日後の CPC CPC1 CPC2 CPC3 CPC4CPC5

Inclusion criteria

救急隊接触時または来院時 来院時 の体温 が 35 °C未満 の救急患者

Exclusion criteria

18 歳未満、死後硬直あり